

6月6日(土)の“ふれあいまつり”では
多くの人達・音楽・花・食べ物とふれあいました



納場小学校・金管バンドの音楽とのふれあい



▲挨拶でふれあわれた①(納コ)柳澤進会長、来賓の②島田幸三・小美玉市長、③木村喜一・茨城県議会議員、④三輪輝子・納場小学校校長

ふれあいまつり

- 開会のことは
会長あいさつ
来賓あいさつ
来賓しょうがい
開会のことは
- 1 開会式
 - 2 納場小金管バンド
 - 3 みのり太鼓
 - 4 OMT JAPAN
 - 5 大抽選会
 - 6 閉会式



▲美しい花鉢とのふれあいが演出された舞台縁

広報

のうば

No.95

張星・部室・納場・江戸・
江戸住宅・羽刈・五万堀・
北浦・高田・手堤・大笹・
寺崎

発行 令和8年7月9日
発行人 柳澤進
編集 納場地区コミュニティ
広報委員会
編集人 岡村共由

■令和8年6月6日(土)
午前10時～午後1時まで
部室の「JA農産センター」
にて納場地区コミュニ
ティ主催で「ふれあいま
つり」を開催しました。
柳澤進納場地区コミュニ
ティ会長の挨拶に続き、
島田幸三小美玉市長、三
輪輝子納場小学校校長
等、地域コミュニティ活
動に支援頂いている来賓
から「ふれあいの挨拶」
を頂きました。

■次に市内唯一の小学生
による金管バンドの演奏
が納場小児童により行わ
れ、多くの父兄や地域の
人達が聴き入りました。ま
た恒例の迫力ある美野里
太鼓や哀調ある篠笛の響
きが続きまして。最後にコ
ミック調のOMT・JAPAN
による演技がなされ、「音
楽・舞台芸術とのふれあ
い」を楽しみました。



各区担当の模擬店

▲人気一番の焼きそば



▲かき氷（上） ポップコーン（下）



▲綿あめ



▲飲み物（上）、おむすび（下）



▲花鉢を射止めた 幸運な人達（この他に大勢おられます）

大抽選会



▲籤を引く役員の皆さん



▲花鉢の抽選後、販売用で残存した「おむすび」も、残り福の景品として配られました。



▲みのり太鼓の迫力ある太鼓と侘しい篠笛の音色にふれあいました▼



▲OMT-JAPANによる パフォーマンス



▲MINORI Milk Cafe販売車（外之内牧場）



▲クレープの移動販売車



▲子供達に人気の「ばどぬりえ」



▲水ヨーヨー



▲輪投げ

■種々の模擬店が各区担当で開設されました。

- ・ゲーム：輪投げ、ストラックアウト（張星区）
- ・焼きそば（大笹区、高田区、張星区、五万堀区）
- ・おむすび（江戸住宅区）
- ・飲み物（五万堀区）
- ・綿あめ（寺崎区）
- ・ポップコーン（江戸区）
- ・水ヨーヨー（部室区）
- ・かき氷（納場区）

なお会場設営は下記の担当で行いました。

- ・受付・案内・接待（羽刈区）
- ・舞台設営（羽刈・手塚区）
- ・駐車場案内（北浦区）

■祭り最後にカラフルな花鉢が当たる大抽選会が行われ、地元産の「**花卉とのふれあいの品**」を50人の方が手にしました。

令和七年度 納場地区 コミュニティ総会を開催

令和八年度の総会が、四月十二日（日）に部室ふろさとコミュニティセンターで来賓を迎え開催され、新役員の体制が左表のように決定され、新会長には五万堀区の柳澤進氏が再選されました。引き続き昨年度と同様な内容の本年度の活動計画が審議され満場一致で承認されました。

本報に寄せられました柳澤会長の挨拶を以下に示します。

納場地区のコミュニティ活動におきましては、皆様のご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。現在は、地域間、人と人の関わりが希薄になってきていると感じておりますので、積極的に参加していただければと思います。

去る六月六日（土）には、各地区から百名に及ぶ実行委員の皆様のご協力により、小美玉市長 島田様、茨城

令和8年度 納場地区コミュニティ 役員名簿

役員名	氏 名	区 名	役員名	氏 名	区 名
会 長	柳澤 進	五万堀	幹 事	海老原 一郎	張星
副会長	小里 通	手堤	〃	宇津野 満	大笹
〃	萩谷 芳昭	納場	〃	篠原 武	寺崎
〃	藤田 俊光	部室	〃	南雲 寛治	高田
〃	佐々木 亮	江戸住宅	〃	大和田 伸一	江戸
〃	豊崎 安治	張星	〃	竹井 茂一	羽刈
〃	藤又 礼美子	羽刈	〃	細貝 浩	五万堀
会 計	藤田 佐知子	部室	事務局	内田 雄二	部室
事務局長	小林 敏男	北浦	監 査	坂本 泰明	張星
幹 事	永井 政二	手堤	〃	鈴木 進悟	北浦
〃	加藤 良三	北浦	広報委員長	岡村 共由	北浦

令和8年度 納場地区コミュニティ 広報委員名簿

役員名	氏 名	区 名	役員名	氏 名	区 名
委員長	岡村 共由	北浦	委員	幡山 栄一	大笹
委員	小林 貴美子	納場	〃	松本 正昭	羽刈
〃	田谷 寿之	部室	〃	磯部 公一	五万堀
〃	篠崎 幸一	寺崎	〃	保田 敏彦	張星
〃	宮川 博	高田	〃	桜井 由佳	江戸
〃	池野上 雄保	手堤			

フラワーロード植栽を実施

令和八年六月十四日（日）午前八時からフラワーロード花壇でマリーゴールドの植栽を行いました。近年は同時に半分の地区は巴川の草刈りも行っていました。今年度からその作業は作業者の高齢化のため当コミュニティの担当から外され全区が花植えに参加できたので短時間で終わりました。

県議会議員 木村様、納場小学校 三輪校長先生はじめ来賓の皆様のご出席を頂き「ふれあいまつり」を開催することができました。「ふれあいまつり」では、納場小学校金管バンド、美野里太鼓、OMTジャンプの皆さんにもご協力を頂き、会場を盛り上げて頂きました。会場に足を運んで頂いた皆さんにも楽しい時間を過ごしていただけたのではないかと思います。

今後予定されております行事につきましては計画通りに実施していきたいと考えておりますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

納場小学校創立 百五十周年に寄せて 磯部公一（五万堀区）

一八七七年（明治十年）に納場小学校が創立され今年で百五十周年の節目を迎えます。明治大正昭和と移り行く時代の中において、二度の大戦や高度経済成長の波を乗り越えてきました。そして現在、周辺の学校が少子化により統廃合されつつある中、納場小学校は地域のみならず共にあります。学校教育振興後援会やPTA本部役員OB会の名友会、さらに市民の会を通して地域のみならず長きに渡りご支援をいただいています。また令和四年から学校運営協議会が設置され地域で学校を支える取り組みもなされています。現在では米づくり支援や授業及び登下校支援での見守りや



▲フラワーロードの植栽作業

編集後記

草刈り清掃などの環境美化活動が行われ、子供たちの笑顔あふれる学校になっております。私たちの地域に学校があり温かいご支援をいただける地縁に感謝し、この先の未来へ納場小学校が受け継がれることを心より願っております。

（納場小学校
運営協議会会長）

■今年度から「広報のうば」の発行は、経費の関係から年二回の発行となりました。そのため記事の主体は（納コ）全体の大きな行事が対象となり、各区の様々な特徴ある行事の記事は割愛せざるを得ない状況です。しかし、各区固有の伝統ある行事の継承は地域文化に不可欠で、そのためにも本紙がその一端を担えるよう更に努力する必要があると考えます。

■本号に掲載した写真は広報委員の宮川氏、磯部氏、岡村が撮影しました。

■納場小創立百五十周年としては歴史資料の収集は是非実施頂きたい事業です。

（広報 北浦 岡村）